

音楽科学習指導案

科目	授業学級	授業場所	使用教科書等	授業者
音楽史	2年7組(音楽科)20名 (男子3名,女子17名)	音楽室2	音楽史 (教育芸術社)	宮原 真紀

1 題材名 「ヨーロッパの文化や音楽について知ろう (ウィーン・ザルツブルグを中心に)」

2 題材の目標

- (1) 音楽史について理解を深め、興味・関心をもたせる。(情意目標)
- (2) ヨーロッパの文化や音楽を理解させ、発表を通して表現させる。(認知目標)
- (3) 音楽史について理解を深め、表現及び鑑賞する力を養わせる。(感覚・技能目標)

3 題材の評価規準

- (1) 音楽史について、興味・関心をもって研究している。(関心・意欲・態度)
- (2) ヨーロッパの文化や音楽について表現しようとしている。(音楽的な感受や表現の工夫)
- (3) 研究した内容について、表現をするための技能を身に付けている。(表現の技能)
- (4) 自分の発表や相互の発表に関して意欲的に学習することができる。(鑑賞の能力)

4 題材の指導計画(全8時間)

- (1) 第1次 グループに分かれ、研修旅行での学習で特に興味・関心をもった内容を選ぶ。(1時間)
- (2) 第2次 研究内容について資料を基に調べる。(3時間)
- (3) 第3次 演奏を含む発表内容について検討する。(1時間)
- (4) 第4次 相互発表をする。(2時間)(本時)
- (5) 第5次 発表のまとめをする。(1時間)

音楽科では、2年次に研修旅行でウィーン・ザルツブルグを訪れる。また、事前研究として、ヨーロッパの文化や音楽、生活習慣などについてもグループに分かれ研究に取り組む。そのため、これまでに学習した音楽史の基礎的知識を基に、研究した内容を発表し、相互理解を深め、より深い現地での研修になるよう学習する。

音楽を理解する上で歴史や文化、音楽の成り立ちを学ぶことが、音楽表現にいかにより必要であるかを認識できるよう学習を進める。

5 教材観

「音楽史」は、音楽を学習する上で大変重要なものである。音楽科では2年次より2年間「音楽史」を学び、音楽的な基礎知識を習得し、演奏表現の土台を形成していく。研修旅行先であるウィーン、ザルツブルグに関する事前研究は、生徒の学習において既習の学習内容をより深いものとし、研修旅行での学習について、興味・関心をもち充実した演奏表現への意欲が高まるものである。

6 生徒観

音楽科の生徒であるため、これまで多くの音楽の基本的な内容について学習に取り組んでいる。21人の専攻ごとの内訳は、管弦打楽器専攻生13人、ピアノ専攻生4人、声楽専攻生3人となっている。

音楽史については2年次より学習しているが、実際の演奏表現につながるような深い理解まで到達していない生徒もみられ、研修旅行を通してより実践的な学習をしたいと望んでいる。

学級の雰囲気は、明朗で意欲的であり、明るい雰囲気の中で授業を展開することができるが、自分の考えや意見をしっかりと述べることに課題があるため、自発性をより培っていききたい。

7 指導観

音楽史の授業においては、音楽が誕生しこれまで代々受け継がれてきたことについて、歴史や時代背景、文化についての基本的知識の習得が不可欠となる。生徒同士が協力して研究した内容について互いにしっかり理解し、アクティブ・ラーニングを用い音楽表現につながる知識を身に付け、のびのびと表現できるように指導を進めていきたい。既習の知識を踏まえ、より幅広い興味をもち研修旅行に臨めるような学習を目指せるよう指導したい。

8 本時の展開

(1) 本時の目標

ア 意欲的に取り組み、のびのびとした表現ができる。(関心・意欲・態度)

イ 音楽史について理解し、相互発表に関心をもって取り組むことができる。

(表現の工夫、表現の技能、鑑賞能力)

(2) 本時の実際

過程	展開	学習内容	指導上の留意点 () は評価の観点
導入	5分	<p>研修旅行の事前研究についての意義について触れ、前時の復習をする。</p> <p>本時の学習目標を確認する。</p>	<p>音楽史について理解させる。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p>
展開	10分	<p>研修旅行の訪問地であるウィーンやザルツブルグについて基本的事項について理解する。</p> <p>演習を行い、理解を深める。 【アクティブ・ラーニング】</p>	<p>基礎的知識を正しく把握させる。(思考力・判断力)</p> <p>机間指導を行い生徒の理解度を確認し、個別に指導を行う。 (表現の工夫・技能, 鑑賞の能力)</p>
	30分	<p>研究したことについて演奏発表する。</p> <p>・ウィーン, ザルツブルグの歴史や文化について ・ベートーヴェンについて ・モーツァルトについて など 【アクティブ・ラーニング】</p> <p>発表した内容について相互に感想を述べる。</p> <p>まとめを行い、理解を深める。</p>	<p>発表内容について把握させる。</p> <p>机間指導を行い、個別に指導する。 (表現の工夫・技能, 鑑賞の能力)</p>
まとめ	5分	<p>本時のまとめと次時の予告</p>	<p>本時についてまとめる。</p> <p>次時の予告をする。</p>

(3) 本時の評価

- ア 意欲的に取り組み、のびのびとした表現ができたか。(関心・意欲・態度)
- イ 音楽史について理解し、相互発表に関心をもって取り組むことができたか。
(表現の工夫, 表現の技能, 鑑賞能力)